



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月9日

上場会社名 株式会社ミダックホールディングス 上場取引所 東 名  
 コード番号 6564 URL https://www.midac.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 恵子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 高田 廣明 TEL 053-488-7173  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,984	26.9	761	17.2	743	15.3	429	21.3
2022年3月期第1四半期	1,563	11.5	650	24.3	645	23.9	353	38.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 429百万円 (21.3%) 2022年3月期第1四半期 353百万円 (38.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	15.58	15.57
2022年3月期第1四半期	13.31	13.30

(注) 2021年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で、株式分割を行っております。これに伴い、2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	20,212	9,706	48.0
2022年3月期	20,040	9,536	47.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 9,697百万円 2022年3月期 9,529百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	3.50	3.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2021年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で、株式分割を行っております。当該株式分割に伴い、同日付の2022年3月期の配当予想は1株当たり配当金2円50銭としておりましたが、2022年1月7日付の「配当予想の修正（70周年記念配当）及び創業70周年記念品贈呈に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、当社が2022年4月1日をもって創業70周年を迎えることを記念し、1株当たり2円50銭の記念配当を実施しました。これに伴い、2022年3月期の年間配当金は1株当たり5円00銭となりました。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,794	24.3	1,283	11.4	1,244	10.0	696	8.4	25.30
通期	7,844	22.9	2,962	30.8	2,885	31.9	1,750	36.2	63.57

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	27,773,500株	2022年3月期	27,773,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	246,498株	2022年3月期	200,667株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	27,558,738株	2022年3月期1Q	26,594,220株

（注）2021年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で、株式分割を行いました。2022年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染状況の改善を受け、感染再拡大のリスクは残るものの、各種経済活動への制限緩和が進み、景気回復が期待される状況となりました。しかしながら、ウクライナ情勢による金融市場の混乱、エネルギー資源価格の高騰、円安等を背景とする物価上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、2022年4月に当社グループは創業70周年を迎えました。この大きな節目を機に、当社グループは、「経営理念」を追求する道筋（プロセス）として、次の10年後の80周年に「目指すべき姿」を具現化するため、ミダックグループ10年ビジョン「Challenge 80th」を策定しました。また、このビジョンの策定と同時に、当社グループは、持株会社体制へ移行しました。

「Challenge 80th」の実現に向け、当社グループは、今後5か年の中期経営計画を2次にわたって推し進めてまいります。第1次中期経営計画では、「成長加速のための基盤づくり」という位置づけのもと本年4月より取組みを開始しました。

足元の事業状況として、営業部門におきましては、新規管理型最終処分場（奥山の杜クリーンセンター）の稼働により大幅に増加した処理能力を活かすべく、広域営業を積極的に展開することで受託量の更なる拡大に努めてまいりました。

処理部門におきましては、営業部門との連携による廃棄物受入体制の強化を継続的に実施することで、各中間処理施設の稼働率向上に努めたほか、最終処分場におきましては、旺盛な埋立需要へ対応すべく、自社が保有する複数の最終処分場を効率的に運営することで、受注単価の向上と受託量確保に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,984百万円（前年同期比26.9%増）、営業利益は761百万円（同17.2%増）、経常利益は743百万円（同15.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は429百万円（同21.3%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 廃棄物処理事業

建設業や廃棄物処理業等から排出される廃棄物の受託量が増加し、各中間処理施設の稼働率は向上しました。最終処分場を運営する連結子会社の株式会社ミダックにおいて、新規管理型最終処分場（奥山の杜クリーンセンター）の稼働が2022年2月より開始されたことや、M&Aにより新たにグループに加わった株式会社柳産業の業績が寄与し、受託量は増加しました。以上の結果、売上高は1,777百万円（同32.2%増）となり、セグメント利益は956百万円（同29.7%増）となりました。

#### ② 収集運搬事業

産業廃棄物においては、当社主要顧客である製造業において、半導体不足などの部品供給の停滞により一部生産活動が低迷したものの、全体としては前年並みの実績となりました。また、一般廃棄物においても、新型コロナウイルス感染症の影響により、受託量は前期並みの推移となりました。

なお、2022年4月1日付の会社分割で一般廃棄物の収集運搬事業を承継した株式会社ミダックライナーの新設に伴い、販売費及び一般管理費が増加したため、セグメント利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は179百万円（同1.8%減）となり、セグメント利益は17百万円（同53.8%減）となりました。

#### ③ 仲介管理事業

2022年4月1日付の会社分割による持株会社体制への移行に伴う内部売上高の減少、ならびに定期案件の減少により、売上高は27百万円（同23.9%減）となり、セグメント利益は17百万円（同58.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ105百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少額180百万円等によるものであります。また、固定資産は13,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円増加しました。これは主に、最終処分場の増加額314百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、20,212百万円となり、前連結会計年度末に比べ172百万円増加しました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,602百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,847百万円減少しました。これは主に、短期借入金の減少額3,093百万円、未払金の減少額630百万円、未払法人税等の減少額368百万円等によるものであります。

また、固定負債は6,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,850百万円増加しました。これは主に、長期借入金の増加額3,831百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、10,506百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加しました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は9,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ169百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益429百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額291百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日付の「2022年3月期 決算短信」にて公表しました連結業績予想から修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,894,217	5,713,864
受取手形及び売掛金	676,330	823,280
棚卸資産	63,817	65,731
その他	496,797	422,417
貸倒引当金	△1,288	△1,123
流動資産合計	7,129,873	7,024,170
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	797,941	794,542
機械装置及び運搬具（純額）	680,684	657,430
最終処分場（純額）	4,958,244	5,272,841
土地	2,484,755	2,484,755
建設仮勘定	1,788,486	1,798,254
その他（純額）	64,272	60,030
有形固定資産合計	10,774,385	11,067,855
無形固定資産		
のれん	1,175,467	1,115,231
施設設置権	160,400	150,375
その他	39,744	39,997
無形固定資産合計	1,375,611	1,305,603
投資その他の資産		
繰延税金資産	246,114	243,615
その他	514,176	571,107
投資その他の資産合計	760,290	814,722
固定資産合計	12,910,287	13,188,181
資産合計	20,040,161	20,212,352

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	68,086	33,890
短期借入金	4,883,500	1,790,000
1年内償還予定の社債	30,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	619,879	733,767
未払法人税等	489,857	120,944
未払金	1,036,507	406,256
賞与引当金	86,300	46,557
その他	236,221	441,010
流動負債合計	7,450,352	3,602,426
固定負債		
社債	216,000	209,000
長期借入金	1,955,519	5,786,660
最終処分場維持管理引当金	699,605	729,725
資産除去債務	110,922	111,317
その他	71,372	66,956
固定負債合計	3,053,418	6,903,660
負債合計	10,503,771	10,506,086
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,149,871	2,149,871
資本剰余金	2,896,672	2,907,631
利益剰余金	4,545,900	4,837,317
自己株式	△62,637	△197,392
株主資本合計	9,529,807	9,697,427
新株予約権	6,582	8,838
純資産合計	9,536,390	9,706,265
負債純資産合計	20,040,161	20,212,352

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,563,652	1,984,208
売上原価	529,529	746,361
売上総利益	1,034,123	1,237,846
販売費及び一般管理費	384,059	476,292
営業利益	650,063	761,553
営業外収益		
受取利息	80	87
不動産賃貸料	3,510	2,427
固定資産売却益	6,055	1,913
その他	3,653	1,663
営業外収益合計	13,300	6,091
営業外費用		
支払利息	15,856	20,385
その他	2,480	3,839
営業外費用合計	18,336	24,224
経常利益	645,027	743,420
税金等調整前四半期純利益	645,027	743,420
法人税等	291,178	314,140
四半期純利益	353,849	429,280
親会社株主に帰属する四半期純利益	353,849	429,280

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	353,849	429,280
四半期包括利益	353,849	429,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353,849	429,280



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年4月7日開催の取締役会決議に基づき、当社の子会社取締役に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式4,269株を処分いたしました。

また、2022年5月26日開催の取締役会決議に基づき、2022年5月27日に名古屋証券取引所の自己株式立会外買付取引（N-NET3）により自己株式50,000株の取得を行いました。

その結果、単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が134,755千円減少し、当第1四半期連結会計期間末における自己株式が197,392千円となっております。

また、当第1四半期連結累計期間において、資本剰余金が10,958千円増加し、当第1四半期連結会計期間末における資本剰余金が2,907,631千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	1,344,972	182,996	35,684	1,563,652	—	1,563,652
外部顧客への売上高	1,344,972	182,996	35,684	1,563,652	—	1,563,652
セグメント間の内部売上 高又は振替高	53,258	36	64,302	117,597	△117,597	—
計	1,398,230	183,032	99,987	1,681,250	△117,597	1,563,652
セグメント利益	737,466	38,331	42,542	818,340	△168,276	650,063

(注) 1. セグメント利益の調整額△168,276千円は、セグメント間取引消去10,622千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△178,899千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計		
売上高						
顧客との契約から生じる 収益	1,777,436	179,614	27,157	1,984,208	—	1,984,208
外部顧客への売上高	1,777,436	179,614	27,157	1,984,208	—	1,984,208
セグメント間の内部売上 高又は振替高	37,029	202	4,457	41,689	△41,689	—
計	1,814,465	179,817	31,614	2,025,897	△41,689	1,984,208
セグメント利益	956,590	17,726	17,754	992,070	△230,517	761,553

(注) 1. セグメント利益の調整額△230,517千円は、セグメント間取引消去250,380千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△480,897千円であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。